

Kita Alps

地域おこし協力隊通信

vol.
9
2025.3



大町市 鷹狩山からの展望

長野県北アルプス地域振興局
企画振興課

北アルプス地域で活動する 地域おこし協力隊員の皆さんを紹介します！

北アルプス地域（大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村）では、2025 年 1 月 1 日現在、計 31 名の隊員が活動しています。多種多様な活動を行う皆さんを市町村ごと、活動分野ごとに紹介します。

2024 年に着任された隊員の皆さんには、他の隊員や地域の方へのメッセージなどを寄せていただきました。

大町市地域おこし協力隊

3つの分野で、6人の隊員が活動しています。

文化芸術振興 【観光文化課】

芸術文化によるまちづくり業務

（アーティスト・イン・レジデンス、北アルプス国際芸術祭など）

情報発信、PR 活動

国際芸術祭推進係



きた まい
喜多 舞衣さん



ひろはし
廣橋 まりあさん

2024年
着任

魅力たっぷりの大町市！是非遊びに来てください！

■自身の活動や地域の魅力について：

現在、芸術文化によるまちづくりや PR 活動などの業務を行っております。メインの活動である北アルプス国際芸術祭は昨秋で一度閉幕しましたが、今後も芸術の力をお借りしながら、大町市の PR 活動に励みたいと思います。

■着任日：2024 年 4 月

■出身地：滋賀県

■前 職：モデル業

■趣 味：ドライブ



昨年はなかなか交流する機会が持てなかったのですが、
今年はみなさんと繋がっていけたら嬉しいです！

■自身の活動や地域の魅力について：

昨秋に開催された北アルプス国際芸術祭では、主にバスツアーのガイド育成や運営サポートを行いました。今後も、大町の魅力を国内外問わず、幅広く発信していきたいです！

■着任日：2024 年 4 月

■出身地：埼玉県

■前 職：受付（観光案内）、ドッグトレーナー、貿易事務

■趣 味：旅行、散歩、野鳥観察、登山、アート鑑賞、ダンス

芸術文化係



えびたに
蜷谷 あかねさん

2024年
着任



おのでら ゆういちろう
小野寺 勇一郎さん

2024年
着任

インタビュー
P7に掲載

産業振興

移住定住・交流促進

【企画財政課 SDGs 共創推進担当】

水を用いた地域ブランディング
（アーカイブ化・取材・SNS 運用）
定住促進に関する取材・情報発信



おおさき りょう
大崎 凌さん



ろ うか
路 雨嘉さん



池田町地域おこし協力隊

5つの分野で、10人の隊員が活動しています。

農業振興 【振興課農政係】

持続可能な農業経営に向けた農業研修、農業振興



しみず りゅうや
清水 竜也さん



なかざわ まさき
中澤 正毅さん



かじもと ゆうだい
梶本 優大さん

2024年
着任

農業を盛り上げられるように頑張ってます。
応援よろしくお願いします。

■自身の活動や地域の魅力について：

池田町は北アルプスの絶景が眺める素敵な町です。
露地・施設栽培等様々な栽培を行っています。未知な
事ばかりですが、退任後の就農に向けて日々勉強です。

■着任日：2024年6月

■出身地：兵庫県

■前 職：食品製造業

■趣 味：釣り、スノーボード



一緒に地域を盛り上げていきたいと思っています。
どうぞよろしくお願いします！

■自身の活動や地域の魅力について：

任期中は農業全般について勉強しつつ、「アクアポニッ
クス」という水耕栽培と魚の養殖を組み合わせたような
農法の池田町での実証実験に取り組む予定です。

■着任日：2024年9月

■出身地：東京都

■前 職：管理栄養士

■趣 味：ドローンを使った空撮



すがい かな
須賀井 加奈さん

2024年
着任

ワイン作りを通して少しでも北アルプスを
盛り上げる一助となれば幸いです。

■自身の活動や地域の魅力について：

醸造用ぶどうの栽培、ワイン作りを目指しています。
寒い中で枝の剪定は大変ですが、とても奥が深く
日々楽しく取り組んでいます。

■着任日：2024年12月

■出身地：東京都

■前 職：文房具店にて万年筆の修理、販売

■趣 味：カフェ巡り、散歩



もりやま みちこ
森山 美智子さん

2024年
着任

市街地活性化 産業振興

【振興課商工観光係】

まちなか活性化・6次産業化推進

インタビュー
P8に掲載



ふえき るうか
笛木 瑠海香さん

2024年
着任

移住定住・交流促進

【総務課移住定住係】

移住定住促進



たけばやし ともこ
武林 智子さん

池田町地域おこし協力隊

農業振興 【振興課農政係】

有害鳥獣対策

2024年
着任



どい しゅう
土肥 志勇さん

有害鳥獣対策は地域全体で取り組まなければ、なかなか効果をあげられません。その為、地域の皆さんが自分事として捉えていただけると幸いです。

■自身の活動や地域の魅力について：

鳥獣の捕獲に重点を置いて活動しております。短期間に捕獲が集中したり、凄惨な光景を目の当たりにした時などは胸に迫るものがあります。貴重な経験をさせていただいているだけでもそうですが、町民の方から労いのお言葉をもらうと、一層嬉しく思えます。

■着任日：2024年4月

■出身地：東京都

■前職：建築業（揚重工、左官工）

■趣味：キャンプ、音楽鑑賞



地域福祉・教育支援 【総務課企画係】

DX推進、町民のITリテラシー向上

2024年
着任



まえはら たかのり
前原 誉宜さん

それぞれの才能、特性を発揮して、次世代に残したい文化慣習が育まれる環境づくりを行います。

■自身の活動や地域の魅力について：

一般ユーザー向けのIT機器の使い方レクチャー講習、勉強会を企画立案運営。収録スタジオつきコミュニティスペースの開設にむけて、購入した空き家の改修準備中。

■着任日：2024年5月

■出身地：神奈川県

■前職：デジタル音楽のディストリビューション事業 オペレータ

■趣味：音声メディア制作、プログラミング勉強、ランニング



すなだ ゆうすけ
砂田 祐助さん

vol.5
で紹介



松川村地域おこし協力隊

7つの分野で、12人の隊員が活動しています。

移住定住・交流促進 空き家対策 【総務課 噂の田舎へ案内係】

移住促進、空き家バンク

インタビュー
P9に掲載



むらかみ だいき
村上 大貴さん

2024年
着任



地域福祉・教育支援

【教育委員会 学校教育課】

英語教育支援、台湾姉妹学校
との国際交流事業支援

子どものスポーツ支援、
地域総合型スポーツクラブ

文化芸術振興

【教育委員会 社会教育課】

文化施設を拠点とする
地域活性化支援、企画、運営

文化・スポーツ
地域連携支援



たじま みき
田嶋 美希さん

vol.7
で紹介



まえじま やすゆき
前島 靖之さん



まつもと よしはる
松本 寿治さん



いしかわ わかな
石川 若菜さん

住民福祉

【社会福祉協議会（出向）】

福祉の地域づくり活動

地域の関わりづくりは到底一人では行えないもの
だと思います。これからも皆様のお力をお貸しい
ただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

■自身の活動や地域の魅力について：

地域のつながり作りをするミッションの中で、1つ自
分のコミュニティをつくることに取り組んでいます。

そこから繋がっていく関係性づくりにやりがいを感じ
ています。今後は地域のコミュニティを作ることに注力
していきたいと思っています。

■着任日：2024年6月

■出身地：埼玉県

■前 職：柔道整復師

■趣 味：登山、スノーボード



おおもり けいご
大森 圭悟さん

2024年
着任

自分のいる場所から、多くの人が暮らしやすい、
生きやすい地域をつくりたいと思っています。
よろしくお願いいたします。

■自身の活動や地域の魅力について：

人の居場所づくりや繋がりをしています。松川村に
住む方が、それぞれの立場や違いを受け入れ、尊重し合え
る関係を築けるよう活動していきます！

■着任日：2024年6月

■出身地：大阪府

■前 職：知的障がいのある方のグループホームでの支援員

■趣 味：映画鑑賞、読書



ますなが あいこ
増永 愛子さん

2024年
着任



松川村地域おこし協力隊

観光振興 【経済課商工観光係】

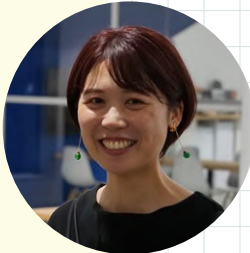
安曇野ちひろ公園管理、運営、企画



さなだ みずき
真田 瑞己さん



いwasaki やすこ
岩崎 泰子さん



かとう あやか
加藤 文香さん

農業振興 【営農支援センター】

農業支援、有機農業、農産物販路拡大



なかむら こうへい
中村 恒平さん



てらぐち じゅんぺい
寺口 純平さん

白馬村地域おこし協力隊

4つの分野で、2人の隊員が活動しています。

移住定住・交流促進 空き家対策 【総務課企画調査係】

移住・定住促進、空き家対策

インタビュー
P10に掲載



たきざわ としゆき
瀧澤 俊幸さん

2024年
着任

特産品開発 地域プロモーション 【白馬村観光局（出向）】

ふるさと納税、リゾートワーケーション

インタビュー
P10に掲載



たきざわ みほ
瀧澤 美帆さん

2024年
着任

小谷村地域おこし協力隊

情報発信 【小谷村CATVインターネット事務局】

SNS情報発信

インタビュー
P11に掲載



うめにし けいたろう
梅西 恵太郎さん

2024年
着任



おのでら ゆういちろう

小野寺 勇一郎 さん

観光文化課

主な担当業務

- ・文化芸術振興
- ・任期開始年月
- ・出身地
- ・前職
- ・趣味

2024年4月～

宮城県
銀行員
演劇

■ 隊員になる前

全国に支店を持つ銀行で管理職として働いていました。直近は仙台支店にいましたが、転勤が多くこれまでに福島県や山形県、東京都などで勤務していたこともあります。長野県には何度か旅行で訪れたことがあり、妻と一緒に大町市に来た際には黒部ダムや山岳博物館を観光しました。その時に見た北アルプスの雄大な景色に魅了されました。

■ 隊員になったきっかけ

新天地で新たなキャリアを築きたいと思い、長年勤めた会社を早期退職。長野県に住みたいという希望があり、二人で移住を決めました。仕事を探す中で知ったのが地域おこし協力隊という制度です。一般的に協力隊の募集では農業や移住定住といった分野が多いですが、大町市の国際芸術祭の運営に関わる活動に興味を持ちました。

■ 担当業務

3年に1度開かれる「北アルプス国際芸術祭」の運営がメインの業務です。私が着任した2024年に開催され、アート制作担当として参加アーティストの支援などに携わりました。具体的には、山あいの地区で展示する作品のために森に竹を取りに行ったり、来日したアーティストをアテンドしたり。作品制作の際には、地域の人にとっても助けられました。芸術祭以外の活動では、課が主催するイベントの協力やこれから始まる市のアーティスト・イン・レジデンス事業の運営などがあります。

■ 意識して取り組んでいること

県外から移住して間もない頃は、地域の人のことを知りませんし、地域の人にも私のことを知りません。そのため、自分のことを知ってもらえるように、コミュニティに飛び込んでコミュニケーションをとることを意識しています。芸術祭の準備では制作が追いつかず、地域の人に声を掛けたところ、快く引き受けてくれました。隊員活動を通して、人とのつながりの大切さを感じました。

■ 北アルプス地域に移住して

長年、東北に住んでいたので雪や寒さには慣れていますが、こちらの寒さは想像以上でした（笑）。一方、雪化粧をした北アルプスの景色には感動しきりで、いまだに夢でも見ているかのようです。昨年は松本市の演劇ワークショップで出会った仲間と劇団を立ち上げました。劇団のプロデューサーとして、いまは公演に向けて準備を進めているところです。

■ 任期後に向けて

昨年の芸術祭に携わって、アートが町にもたらす影響の大きさを実感しました。普段は人が行かないような場所でも、作品を展示することで人が訪れて町がいきいきと活気づく。任期後は何かしらの形で、アートと暮らしをつなぐ役割を担いたいと考えています。大町市が「アートの町」として、市民が誇りを持てるようお手伝いをしたいです。

小野寺さんから、隊員・サポーターの皆さんにメッセージ

活動地域はそれぞれですが、地域おこしに境界線はありません。
皆で連携しながら、北アルプス地域全体を盛り上げていきましょう。



大町市協力隊とかんじきハイク



芸術祭の展示作品が完成



立ち上げた劇団のメンバーと

ふえき るうか

笹木 瑠海香 さん

振興課

主な担当業務

- ・まちなか活性化、6次産業化推進
- ・任期開始年月 2024年10月～
- ・出身地 埼玉県
- ・前職 Web マーケター
- ・趣味 旅行



隊員になる前

高校生の時から広告業界で働くことを目指して、大学在学中から東京の広告代理店でインターンとして仕事をしていました。そのまま就職して、WEB マーケティングの仕事をしていましたが、あまりに忙しく余裕のない日々。立ち止まって自分が本当にやりたかったことを思い返した時に、広告は手段であって、人を笑顔にすることが私のしたい仕事だと気づきました。また、この業界に入った原点には、広告を通して地方創生に貢献したいという思いもありました。

隊員になったきっかけ

旅行が大好きで、子どもの頃から家族や友人と国内外のいろいろな場所を訪れていました。その中でもよく訪れていたのが長野県です。特に、空気と水のおいしい安曇野が一番好きでした。転職を考えた時に、地方創生に直接関われる地域おこし協力隊の仕事を知り、興味を持ちました。安曇野エリアでの隊員募集を探している中で出会ったのが池田町です。花とハーブが町の特産であることや商品開発の活動に魅力を感じ、情報発信でも自分の経験を生かせると思いました。

担当業務

まちなか活性化・6次産業化推進が担当業務で、「シェアベースにぎわい」という町のコワーキングスペース兼加工施設を拠点に活動しています。具体的な活動は、施設の店番やシェアキッチンの手伝い、おやきの配達や販売、イベント協力などです。

また、昨年は町特産のラベンダーをあしらった手すきのハガキを企画し、地域活動支援センターとの協働で製作して販売しました。

意識して取り組んでいること

施設の店番をしていると、いろいろな人に出会います。意識しているのは、積極的にこちらから話しかけてコミュニケーションをとることです。いまは花とハーブの香りを生かした特産品の企画を考えていて、加工施設でお菓子の試作もしています。これから池田町の「ザ・特産品」と呼べるようなものを形にしていきたいです。

北アルプス地域に移住して

移住する前は車の運転が不安でしたが、近くにはお店もあり生活に全く不便を感じていません。こちらに来て感激したのは、夜空を見上げた時の満天の星です。街なかでありながらも、家から一歩外に出るだけで美しい星空が広がっています。また、サウナめぐりや直売所で買ってきた地元野菜を使った料理などの楽しみも増えました。

任期後に向けて

現在はアパート住まいですが、任期後もこの地域に住みたいと考えているので、戸建ての空き家を探しています。任期後の仕事として、いくつかチャレンジしたいことがあります。日本食の魅力を伝える古民家カフェや、地元産の新鮮野菜を詰めた都会への定期便などもやってみたいです。

笹木さんから、隊員・サポーターの皆さんにメッセージ

きれいな自然が北アルプス地域の魅力です。
そうした魅力を生かしながら、一緒に地域を盛り上げていきましょう！



社会福祉大会で手作りハガキを販売



池田町のクラフトパークで



役場に飾る門松の竹を取りに

むらかみ だいき

村上 大貴 さん

総務課

主な担当業務

- ・移住定住、空き家対策
- ・任期開始年月 2024年5月～
- ・出身地 兵庫県
- ・前職 MR (医薬情報担当者)
- ・趣味 登山・スノーボード



■ 隊員になる前

製薬会社で営業職として8年間働いてきました。元々、旅行が好きだったのですが、日本に住んでいながらも行ったことのない場所がたくさんあり、いつか旅してみたいと考えていました。定年退職してからではなく、若くて体力のあるうちにかなえたいと思い、次の職に就くまでの期間で妻と日本一周の旅に。大きなバンで寝泊まりしながら、1年間かけて北は北海道の稚内、南は沖縄の波照間島まで47都道府県全てを回りました。

■ 隊員になったきっかけ

旅の中盤で訪れたのが白馬村でした。ちょうど紅葉の季節で、リフトに乗って八方尾根に。初めは曇って視界が悪かったのですが、帰り際に晴れ間が広がって、目に前に美しい山の景色がありました。その時に、地域が自分たちを歓迎してくれているように感じました。旅の目的は移住地探しではありませんでしたが、北アルプスの麓に住みたいという思いが芽生え、松川村の隊員募集に応募しました。

■ 担当業務

移住相談の対応や都市部での移住セミナーへの出展、また空き家バンクの運営が主な業務です。松川村に来てもらえれば村の魅力が伝わるのですが、知名度はまだ足りないと感じています。村を知ってもらうためにどうしたらよいかを考えながら、いまは関係人口をつくるための企画を練っています。

■ 意識して取り組んでいること

どうしたら村がもっと良くなるかを意識しながら活動しています。協力隊員という立場ながらも、役場では一職員として見なしてもらえているのありがたいです。村の長期的な基本指針を定める総合計画の中では、人口対策も重要な部分を占めています。後期5か年計画の策定の際には話し合いに参加させてもらい、自分が出した意見も取り入れてくれました。村づくりに直接関われるのが面白く、自分の手で住み良い村に変えられることにやりがいを感じています。

■ 北アルプス地域に移住して

松川村は想像していた以上に住み心地の良い場所です。山の景色を間近で眺めながら季節を感じて過ごしていると穏やかな気持ちになり、暮らしの豊かさを感じています。都会で働いていた頃は仕事に追われていましたが、こちらに移住してストレスがずいぶん減りました。仕事は毎日定時で終えて、プライベートの時間を楽しんでいます。

■ 任期後に向けて

まずは移住定住の分野でチャレンジして、実績をつくりたいと思っています。根本的に考えることが好きなので、アイデアを出して実行することで、役場の職員の手が回らない部分までサポートできるとよいです。移住者としての協力隊のバックボーンを生かして、任期後も村の未来づくりに関わっていきたいです。

村上さんから、隊員・サポーターの皆さんにメッセージ

一緒に北アルプス地域を「日本一住みたくなる地域」にしましょう！

Instagram
松川村地域おこし協力隊

東京での移住相談会



村役場で移住相談対応



村名産のりんごを味わう

たきざわ としゆき

瀧澤 俊幸 さん

総務課

たきざわ みほ

瀧澤 美帆 さん

白馬村観光局

主な担当業務

- ・移住定住、空き家対策
- ・任期開始年月 2024年 11月～
- ・出身地 埼玉県
- ・前職 会社員（人事）
- ・趣味 旅行、自然遊び

- ・特産品開発・地域プロモーション
- ・任期開始年月 2024年 11月～
- ・出身地 愛知県
- ・前職 保育士
- ・趣味 旅行、自然遊び



■ 隊員になる前

俊幸さん：私たちは新卒で入社した会社の同僚でした。二人とも旅行が趣味で、結婚前から度々一緒に訪れていたのが長野県です。特にグリーンシーズンに訪れた白馬村の山の景色が印象的で、自然に近い生活に憧れていました。

■ 隊員になったきっかけ

美帆さん：自分たちが思い描いた暮らしをかなえるために、後悔するくらいならいま行動しようと移住を決意。白馬村の協力隊になろうと思ったのは、活動に私たちの経験やスキルを生かして、将来やりたいこととも内容がリンクしていたからです。ちょうど2名の協力隊員の募集があり、それぞれ応募したところ二人とも採用になりました。

■ 担当業務

俊幸さん：村の総務課で、移住定住と空き家対策の活動をしています。主な業務は、前任者から引き継いだ空き家バンクの運営や移住相談の対応などです。村の空き家バンクはまだ開設したばかりなので、いまは他の市町村の先行事例を学びながら、その基盤づくりをしています。

美帆さん：私は「白馬ノルウェーヴィレッジ」という村のコワーキングスペースを活動拠点に、主にふるさと納税の返礼品のPRを担当しています。SNSやメルマガで村の特産品の魅力を発信して、これからラインナップを増やしていく予定です。

■ 意識して取り組んでいること

俊幸さん：白馬村は地域柄、空き家の発掘は簡単ではありませんが、活動するからには成果を出したいと思っています。まずは空き家の情報を整理して、入居に結びつけることで好事例をつくりたいです。

美帆さん：ふるさと納税は私を含めて3人の少人数チームです。活動の成果が納税額として数字に表れるので、やりがいを感じられると思います。協力隊という立場を意識しながら、目の前の業務にしっかり取り組んで村に貢献したいです。

■ 北アルプス地域に移住して

美帆さん：実はそれほど雪への覚悟を持って移住してきたわけではありません（笑）。私の職場はジャンプ競技場の近くで、特に雪深いところですよ。こちらに来て、初めて雪かきや屋根の雪下ろしを経験しました。東京では絶対に経験できないことなので、雪のある暮らしが新鮮に感じられて楽しいです。また、きれいな山の景色を眺めていると、移住して良かったなと感じます。

■ 任期後に向けて

俊幸さん：隊員任期後は妻と二人で会社を立ち上げたいと考えています。前々から不動産に興味があり、空き家を活用して、村への移住を考える人向けのお試し住宅や宿泊施設、将来的にはサウナ施設などもやってみたいですね。

瀧澤さんから、隊員・サポーターの皆さんにメッセージ

せっかく移住したので、自分たちの生活を目一杯楽しみたいです。
一緒に北アルプス地域を盛り上げていきましょう！



職場近くからの景色に感動



移住して良かったと思う景色



雪国での生活を満喫

うめにし けいたろう

梅西 恵太郎 さん

観光地域振興課

主な担当業務

- SNS、ケーブルテレビでの情報発信
- 任期開始年月 2024年4月～
- 出身地 香川県
- 前職 中学校教諭
- 趣味 スノーボード、釣り



■ 隊員になる前

香川県の小豆島出身で、大学進学をきっかけに関西に。卒業後は兵庫県の中学校で英語教師をしていました。学生時代からアウトドアが好きで、仲間と一緒にスノーボードや釣りを楽しんでいます。

■ 隊員になったきっかけ

兵庫県に住んでいた時はスキー場まで行くのがとても遠くて、車の長距離の運転が苦手でした。共通の趣味を持つ長野県の友人たちから「こっちに来いよ!」と誘われて、暮らしは大変でもグレンデの近くに住みたいなど。長野県への移住を決め、仕事を探した際に小谷村の隊員募集に出会いました。村のことはそれまで知りませんでしたが、グレンデに近い環境と活動内容に興味を持って応募しました。

■ 担当業務

小谷村役場内に事務所がある村のケーブルテレビ局に出向しています。小谷村の魅力を発信する活動で、ケーブルテレビで村内に情報を発信したり、SNS を使って村外に PR したりしています。ケーブルテレビでは、地域の人や企業へのインタビューや、自分が番組の出演者として村の祭りやイベントに参加することもあります。テレビに出ているおかげで地域の人に親近感を持ってもらえて、村で会おうと「梅ちゃん!」と声をかけてくれます。

SNS での情報発信は、Instagram と YouTube で村のニッチな魅力を紹介したり、スノーボードでグレンデを滑走する動画をアップしたりして、自分の興味や特技とも絡めながら楽しく活動しています。

■ 意識して取り組んでいること

村外の人に小谷村のことをもっと知ってもらえるよう、SNS で毎日投稿しています。意識しているのは、移住者の視点を生かした自分にしかできない情報発信です。時間があれば村中を回って、面白そうなネタを探しています。村の魅力を伝えたいという思いで発信を続けたところ、ケーブルテレビの Instagram アカウントのフォロワー数が、9カ月で70人から約500人に増えました。

■ 北アルプス地域に移住して

冬は雪が多く生活面で大変だと思ったりしますが、グレンデに近い環境は魅力的です。スキー場のシーズン券を買って、仲間と毎週滑りに行っています。意外と海も近く、グリーンシーズンは釣りを楽しんでいます。海と山では違いますが、自然がすぐ近くにある環境は、どこか故郷の小豆島と似ていて落ち着きます。

■ 任期後に向けて

任期後のことはまだ決まっていませんが、この活動をしていると、取材や動画編集などの色々なスキルを身に付けられます。そうしたスキルを生かせる仕事で、任期後も村に貢献したいです。

梅西さんから、隊員・サポーターの皆さんにメッセージ

小谷村の隊員は私一人なので、市町村を越えてみなさんと情報を共有したいです。「協力隊対談」のような動画の企画も一緒に実現できるとよいです。

Instagram
長野県小谷村 CATV

小谷村の雨飾山に登山



村の祭りで奴踊りに挑戦



ささら師との一枚

北アルプス地域振興局の取組



令和6年度 地域おこし協力隊 北アルプス地域交流会

令和6年12月13日、「令和6年度 地域おこし協力隊 北アルプス地域交流会」を開催し、現役隊員18名、OB2名の方にご参加いただきました。

＜第一部 起業した隊員 OB との対談の様子＞



「発酵と暮らし おはこ」店主
西山 友樹さん（池田町地域おこし協力隊 OB）



「おたり自然学校」校長
大日方 冬樹さん（小谷村地域おこし協力隊 OB）

第一部では㈱日本政策金融公庫の方から起業する際のポイントのお話をいただいたり、卒業後も地域に定着し、起業された OB 2名の方からは任期中から現在に至るまでの「苦労話」や「成功談」などを率直に語っていただきました。

第二部はグループに分かれて、「地域や行政との関わり方で工夫していること」や「任期後のこと」などのテーマについて、隊員 OB の方をファシリテーターに意見交換を行いました。日頃の活動で感じていることを共有できたり、情報交換する中で新たな発見があったりと有意義なものであったとの感想をいただきました。当局としても、隊員同士の横のつながりは重要と考えており、今後も隊員の活動の一助となるような催しを企画したいと思います。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました！

「地域おこし協力隊及び女性のための起業塾」7～9月（全3回）

今年度も地域おこし協力隊員の地域への定着とビジネス手法を活用した社会的課題解決の一助となるよう、長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センター（県立大 CSI）と連携し、地域おこし協力隊及び女性を対象とした起業塾を開催しました（北信・長野地域振興局と合同開催）。

内 容

- ① 第1回 起業に向けたマインドセット…“好き”を仕事に
- ② 第2回 “マイ事業”を考える…未来をかなえる「したいこと」（バックキャスト、理念、ストーリー）
- ③ 第3回 “マイ事業”の磨き上げ…これがしたい、と言える自分に（ビジネスモデル、起業実務）

参加者の声

- 起業に向けた基本的な考え方を整理することができた。また、制度の解説や産業を取り巻く近況が聞けてよかった。
- 自分のワクワクする気持ちを大事にする起業の仕方はとても参考になった。
- 内容がとても充実していたし、肯定的なものであったので、楽しかった。
- 協力隊員個人の考え方や方法論からいったん離れて、物事を客観視することができ、起業する・しないにかかわらずとても有意義な内容でした。

ソーシャルビジネスや起業家支援に精通した講師（CSI センター長：秋葉芳江教授）による講義で、任期中及び退任後の活動を考える絶好の機会になると大変好評でした。

信州で起業する人のためのポータルサイト「SHINKI」

起業支援情報を幅広く入手できます。



長野県事業承継・引継ぎ支援センター

事業引継ぎのマッチングを支援しています。



北アルプス地域振興局では、上記の他にも、隊員の皆さまの活動や任期後の取組を次のとおり支援しています。

■ 地域おこし協力隊・北アルプス地域サポーター制度の運営・個別相談

当地域の金融・商工・農業等の分野の専門家や協力隊 OB・OG 等に「地域おこし協力隊・北アルプス地域サポーター」として登録いただいています。

「地域おこし協力隊・北アルプス地域サポーター」へ相談を希望される隊員の皆さま、地域のために活動する隊員を応援したいという地域の皆さまは、北アルプス地域振興局までご連絡ください。

■ 北アルプス地域で活動する隊員を紹介する「KitaAlps 地域おこし協力隊通信」の発行



「KitaAlps 地域おこし協力隊通信」
バックナンバーはこちら

▶ 「こういう内容の交流会を企画してほしい」「サポーターに相談したい」などご希望がありましたら、下記までご相談ください。

北アルプス地域振興局企画振興課 〒398-8602 大町市大町 1058-2
TEL：0261-23-6501 E-mail：kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp